

わが街 Watching



▲伊藤市長(中央)に「次は優勝したい」と語った選手ら

田川市の2選手も活躍

鷹羽ロイヤルカントリークラブが ゴルフ九州大会準優勝

10月8日に鹿児島県霧島市で開催されたゴルフ大会「九州インタークラブ競技大会決勝」で、「鷹羽ロイヤルカントリークラブ(大任町)」チームが準優勝しました。14日、出場した田川市の丹村和成さん、梶原宏亮さんらが、田川市役所を訪れ、伊藤信勝市長に大会結果を報告しました。

大会は、6人編成のチームで戦う団体戦で、九州7県から予選を突破してきた26チームが出場。同チームは、6選手全員が安定したゴルフを展開し、平成2年度大会で記録した4位を上回る成績を残しました。梶原さんは「チームワークのよさが結果につながりました」と大会を振り返り、丹村さんは「次はもうひとつ上を目指したい」と新たな目標を語りました。

商店街のにぎわいに一役

後藤寺商店街で地元小学生が職場体験

10月15日、後藤寺商店街18店舗で後藤寺小学校3年生44人が、店主らと一緒に店頭立ち、買い物客の呼び込みを行いました。同小が毎年行っている職場体験学習。この日は同商店街の1丁目とサンシャイン通りで開かれている恒例の特売企画「サンQ市」の開催日で、常連客でにぎわう通りに、児童らの「いらっしゃい、いらっしゃい」「おいしい食パンはいかがですか」などの元気な声が響きました。

総菜などの売り場に立った豊福朝香さんは「たくさんのお客さんが喜んで買ってくれてうれしかった」と仕事の楽しさを実感した様子でした。



▲買い物客の対応に大忙しの児童ら



▲予想外の生き物発見?

身近な川の実態を学ぶ

猪位金小児童が水生生物を調査

10月17日、猪位金小学校4年生20人が、猪位金川で水生生物の調査をしました。川に住む生物の種類から水質を知り、川の汚れを実感してもらうために、田川市郡の住民らでつくる団体「田川ふるさと川づくり交流会」が企画する体験学習です。

児童らは採取のコツを教わった後、アミをもってさっそく川の中へ。石をはぐるなどして念入りに調査していき、カワニナ、ヤマトシジミ、スジエビなどを捕まえました。児童らは、同会メンバーと一緒に捕まえた生物の種類や数から水質を判定し、川の汚れの実態を確認していました。

和楽器で国際交流

風の会風雅がニュージーランドで演奏会

8月23日、田川市の和楽器の会「風の会風雅」(久保誠三郎会主)が、ニュージーランドのオークランドで開催された親善行事「Taste of Japan」に招待され、演奏会を行いました。昨年に引き続き2回目の今回は、津軽三味線の「範将会」も参加して童謡やポップスからクラシックまで幅広いジャンルを演奏し、喝采を浴びました。

久保さんは、「ニュージーランドでは日本の文化への関心が高く、非常に手厚いもてなしを受けた。首都ウエリントン市長からも、来年のイベントへの出演依頼があり、今回は時間をかけて準備をし、より良い演奏会としたい」と来年の公演への意気込みを語っていました。



▲親善イベントで演奏する「風の会風雅」と「範将会」の皆さん

真剣な表情で
野菜を切るお父さん▶



▲無事にできて「かんばーい」

お母さんへの感謝を込めて

クッキングパパと子どもたちの料理教室

9月20日、大浦小学校で「クッキングパパと子どもたちの料理教室」が行われ、小中学生と父親など12組42人が料理作りにチャレンジしました。

参加者は慣れない手つきで、炊き込みご飯、水ぎょうざ、玉ネギとニンジン卵の卵とじなどを作り、いつも料理を作ってくれる母親を招待して一緒に食べてもらいました。

参加した村上幸久さんは、「普段全く料理をしないので、包丁を握るのも恐る恐るで、緊張しました」と、息子の拓哉さん(中央中学1年)は、「ぎょうざ作りがおもしろかったので、家でも作りたい。お母さんの苦勞が少しわかった」と話していました。

空き缶を拾い集めて10年間

河端隆さんが収益金を寄付

10月3日、空き缶やペットボトルを拾ってリサイクルするボランティア活動が続けている河端隆さん(上伊田東在住、71歳)が、市役所を訪れ、伊藤信勝市長に収益金456,975円を寄付しました。

河端さんは、平成10年の定年退職を機に活動を始め、毎年収益金を寄付し総額は222万円。今回は、子どもからお年寄りまで楽しんでと、11月1日、2日に行われるコールマイン・フェスティバルの運営資金として寄付しました。

河端さんは、「こうして続けられるのは、ボランティアで歩き回るおかげ。人との出会いもあり、協力者も増えました」と周りへの感謝を語りました。



▲伊藤市長に寄付を手渡す河端さん(左)